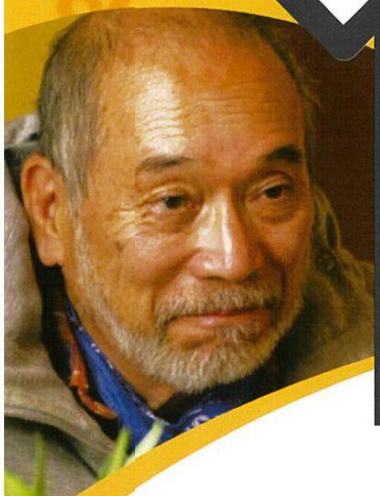
人権学習教材ビデオ

シェア してみたら わかった こと



東京のどこかにあるシェアハウス。
ここには、年齢も社会的立場も異なる人たちが、
同じ屋根の下暮らしている。

令和元年度制作　DVD 46分

企画：東京都教育委員会　制作：東映株式会社

字幕・副音声収録
活用の手引き付き

人権学習教材ビデオ

外国人に関する人権

「外国人、キライですか?」

主人公・未来と和也が、リビングで外国人に対する陰口を言っていると、ネパール人のガネスが帰宅し、気まずい雰囲気に。見かねた家主の守は、震災時に避難所で出会った外国人家族のエピソードを話し始める…。

解説:鈴木 江理子さん(国士舘大学 教授)
取材:NPO法人 多文化共生センター東京

性自認や性的指向に関する人権

「素敵な女性になれると思ってた」

未来は、和也のアウティングによって、じゅんがトランスジェンダーであることを知ってしまう。じゅんは「こんな形で話すのは不本意だけど…」と自分の辛かった体験を交えて語りだす…。

解説:小川 奈津己さん
(NPO法人 ReBit 教育事業部マネージャー)
取材:小林 りょう子さん
(NPO法人 ハートをつなごう学校副代表理事)

上京して、期待を胸に入居した
シェアハウス
そこに暮らしているのは、
個性豊かな住人たち

この住人たちとの交流は戸惑いの連続だけど
時間、空間、思いをシェアして初めて気づくこともある

私が、シェアしてみたらわかったこと

外から見えにくい障害のある人の人権

「わたし、発達障害なのです」

未来が帰宅すると、沙織がリビングで熱心にメモを書いている。話を聞くと、沙織は発達障害で、生活上のトラブル回避のために行っているとのこと。気になった未来は、自室で発達障害について調べてみる…。

取材:発達障害の就職支援を行う
就労移行支援事業所「ディーキャリア」

災害時の人権

突如、地震が発生。住人たちはリビングに集まってくる。守の提案で、消費期限間近の非常食を食べながら、それぞれ災害時の大変だった経験などを語り合う。

解説:東 俊裕さん(熊本学園大学 教授)

公益社団法人尼崎人権啓発協会

〒660−0051 尼崎市東七松町1丁目23−1(尼崎市役所内 中館7階)

電話 (06) 6489−6815 ファックス (06) 6489−6818

ホームページアドレス https://hcg22501.wixsite.com/hcg22501

互いの人権を尊重し、ともに生きる まち・あまがさきをめざして